社会を構成する一員としての作法を学ぶ〈生徒会活動〉

年が開け、生徒会本部の新しい役員が決まりました。（○数字は学年）

会　長…大野君②
副会長…山田さん②
副会長…森君①
書　記…本田（き）さん①
学習部…石橋さん②
生活部…松尾（か）君②
保体部…平君②
文化部…北野さん②
美化部…本田（み）さん②
図書部…酒井君②

《生徒会引継式の様子》

生徒会活動は、生徒の自主的な活動を行うだけでなく、例えば計画の立て方や意見（民意）の集め方、まとめ方、予算の使い方や報告（決算）の仕方など、いわゆる「議会制民主主義」や社会の仕組み等を学ぶ〝教材〟でもあります。これからの社会を考えれば、「社会福祉」を考えたり、「起業」を体験したりすることも検討すべきかなとも考えています。

とにかく前例に囚われず**チャレンジ精神**で頑張ってほしいと願っています。

新生徒会長の夢・憧れ・志

本校七十七代目となる大野生徒会長の就任挨拶を掲載します。

皆さん、こんにちは。新生徒会長の大野です。これから皆さんの期待に添えるよう頑張っていきたいと思います。前生徒会役員の皆さん、今までお疲れさまでした。これまで先輩方が取り組んで来られた生徒会の活動を引き継いで、新しい生徒会を創っていきたいと今強く思っています。

僕は、生徒会長として口之津中学校の良いところを伸ばし、課題について考え、解決できるようにしていきます。あいさつや返事など、当たり前のことが今以上にしっかりできる学校、口之津中学校の課題である話を聞く姿勢や態度がきちんとできる学校になるよう努力します。

令和五年度の生徒会スローガンは「勇猛邁進」です。これは、目標に向かって頑張り、失敗しても勇ましく前進するという意味があります。この言葉どおり、いろいろな行事を成功させることや公約に掲げたあいさつが当たり前にできる学校を築いていけるよう頑張っていきます。しかし、僕一人の力だけでは目標を達成することはできません。そのためには皆さん一人ひとりの力が必要です。ぜひ皆さんの力を合わせて、よりよい学校を築いていきましょう。

これから一年間、自分にできることを精いっぱい頑張りますのでよろしくお願いします。

彼らしく真面目で実直な人柄そのままの挨拶でした。彼らのサポーターは私たち教職員と保護者や地域の皆様です。よろしくお願いします。

《コラム　港町ブルース》

日に新た 日々に新た 日に新た

「えび」はなぜ、祝いの席に出されるかというお話をきいたことがあります。

えびは脱皮します。古い自分の殻（から）を捨て、日々成長し、一生涯〝新たになる〟からめでたいのだと。日本人は、そんなえびの生き方（？）に憧れて、人生の節目に食すとありました。

昨日まで引っ込み思案だったけど、今までやったことのない立候補をする。あきらめが早くてすぐにへこたれていたけど、歯を食いしばって頑張る。わがままや幼稚さを脱ぎ去って、優しい言葉や「ありがとう」を伝えることができる。これらはすべて脱皮です。そのような周りの人たちから「めでたい」と喜んでもらえるような生徒の脱皮を何度も何度も見たい（自分もしたい）と思った年の初めでした。

（脱皮する生き物は、他にもいますが、それは置いといて…。）

《　主な行事予定　》

〈１月〉
２０日（金）避難訓練
３０日（月）AI ドリル(モノグサ)試用開始（１・２年生）～2月２８日

〈２月〉
１日（水）公立高校前期選抜試験 ～２日
（私立高校は各校すでに始まっています。）
３日（金）入学説明会
（口之津小６年生とその保護者対象）
４日（土）バレーボール県大会～５日
イングリッシュパフォーマンスコンテスト県大会
１５日（水）学年末テスト（全学年）～１７日
２４日（金）学年学級育友会（1･2 年）

〈３月〉
７日（火）公立高校後期選抜試験 ～８日
１４日（水）卒業証書授与式
２４日（金）修了式、離任式

《心に響いた言葉》　「生徒会活動を行うことを通して、何事も準備が大切だということを学びました。」
生徒会引継式における学習部長 永野さん（３年生）の退任の言葉から

シリーズ「令和の日本型教育を行う口中へ」

〈第八回〉

学習の保障（その一）

今回の「学習の保障」に関しては、文科省の資料によると、次の施策を進めたいとありました。

- ICTを活用した**「個別最適な学び」**と**「協働的な学び」**の充実
- 各教科等の特質を生かした**教科等横断的**な視点からの教育課程の編成・充実
- **学校段階間の連携強化**（小中連携など）
- 児童生徒の実態に基づき可能性を伸ばしていくための**環境整備**（飛び級、不登校対応など）
- **「学びに向かう力**（主体的に学習する意欲）**」**の育成と**キャリア教育**の充実

これらの要点を整理すると、次の四つになります。

○学力の確実な定着
○カリキュラム・マネジメントの充実
○補充的・発展的な学習指導の促進
○生徒が学校を休んだときの学習保障

これも専門用語が並んでいて難しいので、一言で言えば、次のような感じです。

子どもたちの
「学ぼうとする意欲」を大事にする
ための仕組と手立ての大改革

《本校での取組》

本校の学力の状況は、臨時保護者会でお伝えしたとおりですので、取れる対策は何でもかんでも取り組んでいく（！）というスタンスでいます。まず**「学力の確実な定着」**については、授業での学習をしっかり徹底することに加え、次のことに取り組んでいます。

一、授業で「何ができるようになるか」を明確にして始め、授業の終わりに確認する。

これは、業界用語でいうところの『めあて』というもので、授業の最初に黒板に書いて確認します。この〝できるようになる〟という力と自分の未来との関連性を意識できるかどうか（専門用語でいうところの「教科授業におけるキャリア教育」）が重要なポイントです。

二、パソコンを使った学習の推進

今、漢字や英単語、重要語句、基本的な計算方法等を記憶することに特化したAIドリル（「モノグサ」）の導入について検討を進めています。今月末から試用期間を設け、保護者の皆様に御意見をいただきたいと考えています。

「カリキュラム・マネジメントの充実」では、異なる教科の授業を関連付けたり、総合的な学習の時間や学校行事と結び付けたり、小学校や高校等での学習の継続性を考えて進めたりすることをよりいっそう深めていきたいと考えています。

（今回は紙面の都合でここまで。つづきは次回へ）

ふるさとの文化・歴史・人物 ―― 口之津中教育の視点から

「永野萬蔵」

何でも「一番」に事を為すのは勇気がいることですが、口之津にはその〝日本初〟を為した偉人がいらっしゃいました。

安政二年（一八五五年）、口之津村西大泊に生まれた萬蔵は外国船の船員だった。二十二歳の時（明治十年）カナダ南西の港に寄港中、脱船して密入国した。フレーザー川の鮭漁で塩漬け製造や缶詰製造で財をなし〝カナダ大尽〟〝サモン大尽〟の異名をとった。一九七七年、カナダ政府から「日系カナダ移民第一号」の称号を受け、「萬蔵山」と命名した山もカナダにある。

（口之津港緑地公園記念碑から）

カナダで一時代を築きながら、故郷（口之津）への想いを忘れず、晩年には帰って来られたというところに、胸の奥にジーンとくるものがありました。子どもたちにもこのような故郷への郷愁の種を植えておきたいと思いました。

【お知らせ】

来る二月後半、リモートによる「合同高校説明会（一・二年生対象）」の開催について準備を進めているところですが、学年・学級育友会と期日を合わせることができませんでした。御理解と御協力をお願いします。（高校説明会の内容は、六月開催分と重複する部分も多いかと思いますので御留意を）

《今日は何の日》１月１３日…源頼朝没、咸臨丸出航、１月１７日…防災とボランティアの日、１月１９日…のど自慢大会放送開始
１月２０日…JFケネディ就任演説、１月２１日…薩長同盟成立、１月２７日…ﾓｰﾂｧﾙﾄ誕生、１月３０日…ガンジー没